

1,000万円～1,500万円台の家

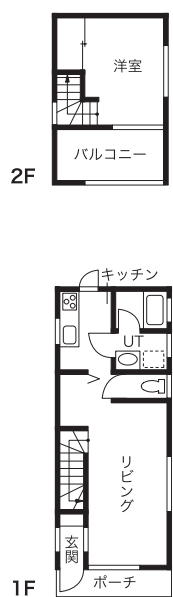
case.04

コンパクト

- 価格を極力カットしたプラン
- 居住性と機能性を追求した間取り
- 隣家への配慮も万全



平面図



建築データ

- 構造規模 ■ 木造(在来工法)・2階建て
- 延床面積 ■ 48.35㎡(約14坪)
- 主な外部仕上げ ■ 屋根/ガルバリウム鋼板、外壁/窯業系サイディング、建具/玄関ドア:断熱ドア、窓:アルミサッシ(ペアガラス)
- 主な内部仕上げ ■ 床/フローリング、壁・天井/ビニールクロス
- 断熱仕様 ■ (充填断熱)床下/スタイロフォーム30mm、壁・天井/グラスウール10kg100mm
- 暖房方式 ■ エアコン

大崎西部復興住宅団体

問い合わせ先
設計・施工/長江建設(有)
加美郡加美町葉切谷青木原17-2
TEL.0229-63-4732

- 1.2階には6畳間と押し入れ、広々としたバルコニーをレイアウト
- 2.東南2面の窓から陽光が射し込み、明るく開放感いっぱい
- 3.清潔感漂うキッチン。給湯や調理にはガスをチョイス
- 4.高台に建つAさん宅。バルコニーからは市街地が一望できる
- 5.洗面脱衣室は服の脱ぎ着がしやすい広さを確保
- 6.スペースを有効に使ったシューズクロークを備えた玄関
- 7.敷地目一杯に建つため、設計の際は隣家への配慮も課題となった

住まい手のニーズに沿った家づくりをモットーとする長江建設。Aさんも「しっかりと要望を引き出してもらい、価格も中身も希望通りです」と納得の表情を浮かべていました。

東日本大震災で築50年の住まいが被害を受けたAさん。区役所に相談したところ、宮城県建築士事務所協会を通じて紹介されたのが長江建設でした。「初めは修理して住もうと考えたのですが、直すだけでも600〜700万円かかるのと知り、建て直すことにしたんです」とAさんは語ります。同社では、「できる限り費用を抑えつつ、高齢のお母さんと快適に暮らせる家」というAさんの希望に沿ってプランニング。わずか15坪弱とコンパクトながら、居住性の高い住まいを実現しました。

17坪という狭小地に建つAさん宅。両側に迫る隣家の敷地に雪が落ちないよう、雪止めを設けた無落雪屋根を採用するという細かな気配りがなされています。室内に目を移すと、お二人の寝室も兼ねる10畳のリビングをレイアウトした1階部分は、車椅子で暮らすお母さんに配慮しバリアフリー仕様。普段使わないものをしまっておけるよう、十分な収納も確保しました。さらにリビングの北側には水まわりを集約。少ない動きで家事を完結できるシンプルで機能的な間取りが光ります。コストを削減できる部分は削減しつつ、住宅性能にはきちんとこだわっているのもポイント。高い断熱・気密性により、夏涼しく冬暖かな暮らしを叶えています。

必要最小限のコンパクト空間に暮らしやすさをプラスして